

平成 15 年 10 月 24 日

報道機関各位

東京都港区赤坂 2 丁目 3 番 4 号ランド・イク赤坂ビル
株 式 会 社 ク リ ー ド
03 5575 2010(代表)

**一定の自己資本比率を確保しつつ財務活動を積極化
～戦略的財務活動により物件取得を加速～**

当社では 2003 年 9 月、私募社債の新規発行やコミットメントラインの増額等により、以下のとおり中長期的資金および機動的資金の確保に注力いたしました。具体的には、デットサイドの調達が多様化（短期的な機動的資金=コミットメントライン枠の増額 低利での中長期的資金=私募社債の拡大 CP の発行）を図りながら、30 億円の資金枠を拡大いたしました。当該資金をもって不動産物件の取得を加速させ、今後ますます拡大すると想定される当社事業のオポチュニティの獲得に努めたいと考えております。

また一方で今後につきましては、自己資本比率 30%以上という財務の健全性を維持しつつ、連結ベースの資金ルートの見直しによる手元現預金水準の適正化を進めるなど資金効率を向上させ、いっそうバランスシートの効率化を図っていききたいと考えております。

記

1. 私募社債を中心として、新規に 25 億円の無担保中長期事業資金を調達

りそな銀行

- ・ 取り組み形態：私募債の発行
- ・ 発行 額：10 億円
- ・ 期 間：5 年
- ・ 発 行 日：平成 15 年 9 月 25 日
- ・ ク ー ポ ン：1.25%

みずほ銀行

- ・ 取り組み形態：私募債の発行
- ・ 発行 額：10 億円
- ・ 期 間：3 年
- ・ 発 行 日：平成 15 年 9 月 30 日
- ・ ク ー ポ ン：0.48%

UFJ 銀行

- ・ 取り組み形態：私募債の発行
- ・ 発行 額：3 億円
- ・ 期 間：3 年
- ・ 発 行 日：平成 15 年 9 月 25 日
- ・ ク ー ポ ン：0.48%

関西さわやか銀行

- ・ 取り組み形態：長期借入
- ・ 発行額：2億円
- ・ 期間：3年
- ・ 実行日：平成15年9月22日

発行済み私募社債の総額：46億円（平成15年3月発行の三井住友銀行保証付き20億円を含む）

2. コミットメントライン等の機動的資金が拡大（総額35億円へ）

新生銀行

- ・ 取り組み形態：バイラテラル型コミットメントライン増額設定
- ・ 増額融資枠：5億円（総額で15億円へ）
- ・ 設定日：平成15年9月25日

京葉銀行

- ・ 取り組み形態：融資枠設定（新規取引）
- ・ 融資枠：2億円
- ・ 設定日：平成15年9月22日

ご参考：これまでの取り組み

新生銀行コミットメントライン（10億円：平成14年11月）

千葉銀行シンジケート型コミットメントライン（14億円：平成14年12月）

みずほ銀行コミットメントライン（3億円：平成14年3月）

3. その他

調達手法の多様化を図るべく、CP（コマーシャルペーパー）を試験的に発行しております。

4. 当社にとっての意義・位置付け

- ・ 当社を取り巻く事業環境は、不良債権処理や減損会計の導入および産業再生の促進などにより不動産案件の市場放出がますます増加すると想定される一方で、市場参加者の増加による競争も生じつつあり、スピーディーな投資判断や実行能力がいつそう問われるタームに突入いたしました。
- ・ 当社ではこれまで、こうした時代環境にスピーディーかつ柔軟に対応すべく組織編成や体制の整備などを行ってまいりましたが、資金面においても機動的対応を可能にするべく今回のような融資枠の確保に取り組んでまいりました。
- ・ 具体的には、プリンシパルインベストメント事業（自己勘定投資）資金、および当社がマネジメントするファンドへの移管を前提に当社が取得する案件のブリッジ資金的な役割を果たす事で、当社の収益拡大やファンド事業促進に寄与するものと考えております。

以上

本件に関するお問い合わせは、担当：吉田まで

03-5575-2551（直通）

yoshida@creed.co.jp